第３回鎌倉市子どもの家等指定管理者選定委員会　議事概要

１　日時

令和８年（2026 年）７月 22 日（水）９時 10 分から 12 時 50 分まで

２　場所

鎌倉商工会議所 301 会議室

３　出席委員

加藤委員長・田村副委員長・河合委員・小宅委員・大西委員

４　事務局出席者

安冨（青少年課長）・西村（青少年課青少年担当担当係長）・白井（青少年課青少年担当職員）・下釜（青少年課青少年担当職員）・片野（青少年課青少年担当職員）

５　傍聴者

３名

６　審議等内容

（１）　はじめに

公開ヒアリングに先立ち、公開ヒアリングの流れ及びその内容の確認を行った。

プレゼンテーションのテーマは、【子どもたちが放課後に安心して過ごせるとともに、周囲と関わりながら自らの興味を高められるようにするため、どのような工夫を行うか。また、そこに地域や保護者をどのように巻き込んでいくか。】とした。

（２）　公開ヒアリング（プレゼンテーション及び質疑）

応募団体が、鎌倉市子どもの家等施設に関する内容について、テーマに沿ったプレゼンテーションを行い、その後、選定委員から応募団体に対して質疑を行った。

主な質疑内容については、別紙質疑応答表のとおり。

（３）　採点及び審議

選定委員５人の採点を総計した結果、全ての応募団体の採点結果が最低基準を満たしており、最高点を獲得した株式会社理究キッズが優先交渉権者として選定された。

（４） 講評

【講評】

委員長　：具体的な事例を交えた説明があり、非常に分かりやすかった。質疑応答において、メインの話し手だけでなく、現場を知っている担当者が丁寧に答えていた点に、チームとしての信頼性と誠実さを感じた。無理のない範囲で着実に事業を発展させていこうとする姿勢に安定感があり、安心してお任せできると判断した。

副委員長：「子どもたちが大人になった時に鎌倉に戻ってきてほしい」という地元愛を育む視点に感銘を受けた。企業の安定的な運営体制を、ぜひ現場の運営に生かしてほしい。

河合委員：放課後に子どもがリラックスして過ごせる環境作りや、地域プログラムの充実に配慮がなされていた。「保護者を巻き込む」というテーマに対し、しっかりと向き合って検討されていた点を高く評価する。

小宅委員：提出資料が具体的かつ非常に整理されており、事前の準備が丁寧になされている印象を受けた。プレゼンテーションを通じて、地域に深く根ざして事業を行っている姿勢が伝わり、信頼がおけた。

大西委員：提案資料がわかりやすく整理されており、また発表者から受ける印象と一致しており、信頼感があった。